

出前授業「めざせむしはかせ」授業実施例

実施校：神田小学校 1年生1組、2組の2クラス

授業実施日：2020年9月15日（火曜日）2時間目（9時40分～10時25分）1年1組

3時間目（10時45分～11時30分）1年2組

講師：下山 孝氏（環境省登録 環境カウンセラー）<http://u0u1.net/VYub>

単元：小学1年生 生活科 「いきものとなかよし」

目標：むしをみつけることができる。苦手な人に説明できる。

授業概要：

時間	流れ	内容
5分	講師自己紹介	講師の自己紹介と講師が登録している環境カウンセラーというお仕事の内容を簡単にお話します。
	はじめに	むしが苦手な人が嫌がることはやめよう。 むしが得意の人は、人にむしのことが分かるように教えてあげよう。 *大阪なおみ選手（テニス）のお話を交える。
5分	むしのスケッチ	知っているむしの絵をかいてみよう。 →書いたむしの特徴を見ます。むしの足の数は何本？蝶々の羽の数は？お鼻は？ →実際に外に出てむしを自分の目で確かめます。 わかっているようでも、知らないことが多いことに気づきます。
30分	外でむし探し	校内の学習園や築山でむしを探します。 むしのいる所はどこだろうか？ →むしが苦手な人と一緒に虫を探します。 むしが苦手な人に、探し方を教えてあげます。 はっきりとわからないことは詳しく何度も確かめます。
5分	見つけたむしを観察	だんごむしの足の数は何本？14本？ バッタのおなかはどこ？足の生えているところから下の部分？ 目はいくつ？2つ？ お鼻はどこに？おなかの所？ →人から教えてもらった事だけではなく、自分で探して見つけ（知る）、わからない事を自分で調べて考えてみます。 他の人にも丁寧に教えられたかを確認します。

1. 講師自己紹介



2. むしのスケッチ





3. 外でむし探し



4. 見つけたむしを観察



[授業のポイント]

- ・人のいやがることをしないで、うまく調べられたかやさしく教えることができたか、むしの苦手な人も好きになることを気づかせます。
- ・一人がわかるのではなく、みんながわかること。→SDGsの基本的な理念です。
- ・教えてもらったことだけでなく、自分で探して、見て、調べて、知る事です。
- ・わからないは、気にしない。わからないことは繰り返し調べる。→自分の力を見出すことがポイントです。



以上

【授業で使った資料】

いきものとなかよし「めざせ、むしはかせ」

がつ	にち	なまえ

知っている 虫

ほんとうの 虫

(ふりかえり)

【授業の学習指導案】

生活科 1年 学習指導案（略案）

指導者 下山 孝

日 時	令和2年（2020年） 2(3)校時 2時間目(3時間目)	
学部 学年（学級）	小学校 第1学年 1(2)組	
場 所	教室及び学習園・築山	
単元（題材）名	めざせむしはかせ	
目 標	むしを見つけることができる。苦手な人に説明できる。	
	学習活動	指導上の留意点
つかむ・見通す	1 むしのスケッチができる むしを見つけることができる。	・わかっているようでも、知らないことが多いことに気づく。（実物と比べることの大切さ）
	2 相手にわかるように説明することができる。	・苦手な人には「いじめ」でむりやり教えるのではないことに気づく。
	むしを見つける・やさしく教えることができる	
	はつきりわからないところは詳しく何度も確かめてみる。	指導者がレベルの高い質問をすることもよい。
追究する	むしのがてな人にも探し方を教える。	相手が嫌がらないように特に配慮することで苦手な人も好きになることに気づかせる。
	うまく調べることができるようになったか、やさしく教えることができたか、振り返る。	
使ってみる・振り返る	最初に書いたスケッチと比べる。	いろいろなむしでも比べてみる。 分からないことは互いに相談したり、詳しい人に聞いたりして確かめさせる。
	他の人にも丁寧に教えられたかを確認する。	教えてもらった人の声も大切にする。 わからないことは繰り返して調べてみる。